

## はじめに ～〈トピック力〉で差をつけよう～

### ■ 〈トピック力〉って何？

ある日、あなたが電車に乗っていると、外国人の2人連れの話し声が漏れ聞こえてきました。どうやら英語のようで、聞き取れたのはこんな単語だけ。

“... love ... break ... fifteen ...”

「知っている言葉ばかりだけど、何の話だろう？ 失恋の話かな？」と思っていたら、次に聞こえてきた単語は——“... serve ... racket ...”。

テニスを知っている人なら、ここでピンときたことでしょう。単語の並びで、試合のシーンまで思い浮かんだかもしれません（分からない人は調べてみてください）。

スポーツ、ファッション、映画、歴史……日常生活の中で、自分の好きな分野の言葉が断片的に見えたり聞こえたりしただけで興味を引かれ、内容もすいすい頭に入ってきたという経験は誰にでもあるはず。それは、あなたがその分野の〈トピック力〉を持っているからです。ある話題について「ピンとくる」。それが〈トピック力〉です。

### ■ 単語力とは違う？

「それって、単語をたくさん知っているということでは？」——いいえ、違います。例えば「love とはテニス用語で『0点』のことである」と暗記していても、テニスのことを何も知らなければ、その意味を本当に理解しているとはいえません。

逆に、〈トピック力〉が単語力の不足を補ってくれることもあります。

Oda Nobunaga was assassinated by Akechi Mitsuhide in 1582.

あなたに歴史の〈トピック力〉があれば、上の文の assassinate が「殺す、暗殺する」の意味だと推測できるでしょう。さらに、どちらがどちらを殺したかという関係も、「受動態」という文法を思い浮かべるまでもなく理解できるはずです。

もちろん、英語を使いこなすには単語や文法の正しい知識が必須ですが、表現される内容についての背景知識やイメージも、英語の運用にはとても役立ちます。つまり〈トピック力〉は、単語力・文法力と表裏一体で〈英語力〉を支えてくれる大きな柱といえます。

「でも、トピックは数えきれないほどあるんだから、すべてを学ぶなんて無理！」——確かに、あらゆるトピックを知ろうというのは非現実的です。

しかし、運動神経のいい人は新しいスポーツでも上達が早い。旅慣れた人は知らない土地でも自信を持って歩ける。それと同様に、主要なトピックに多く触れておけば、初めて触れるトピックの理解にも勤が働く、いわば〈応用的なトピック力〉が養われるのです。

## ■ どんな役に立つ？

本書の目的は、簡単にいえば「入試に出てくる話題を幅広く知っておこう」ということです。では、それがどんな役に立つのでしょうか。

### 1. 英文を読むスピードがアップ！

最近の入試英語はますます長文化しており、じっくり読んでいる余裕はなかなかありません。でも、トピックになじみがあれば、分からない単語や表現などの細部は推測で補い、要点を押さえながら長い文章をどんどん読み進むことができます。

### 2. 内容理解の精度がアップ！

細部でつまづくことなく要点が捉えられれば、「直訳はできるけど全体の意味が分からない」といったことも減ります。また内容一致問題では、トピックの「常識」から選択肢を絞れる場合もありますから、実践的な得点力にもつながります。

### 3. リスニングやライティング・スピーキングの力もアップ！

最初に挙げた例からも分かるように、言葉を耳で聞くリスニングでも（トピック力）は大きな助けになります。また、社会問題などについて問われることの多いライティングやスピーキングのテストでは、むしろ不可欠な基礎力です。そもそも、なじみのないトピックなんて日本語でも理解しにくいし、うまく話せないでしょう？

## ■ どうやって身につける？

今回の企画に当たっては、過去の大学入試長文や英作文問題を2,000題以上分析し、みなさんにぜひ触れておいてほしいトピックを「標準編」「発展編」それぞれ30ずつ取り上げました。この「標準編」は、大学入学共通テストや中堅私大レベルを想定して編集してあります。そして、それぞれのトピックに習熟できるよう、リーディング・リスニング・ライティングなど多面的なトレーニングを設定しました。

ただし、本書は普通の問題集や参考書と違って、必ずしも前から順番にやる必要はありません。興味のあるトピックから始めるのも大丈夫。なんなら最初はバラバラと日本語だけ拾い読みしてもいいでしょう。無理をせず、自分のペースで、主要なトピックに繰り返し触れることで、〈トピック力〉は自然と身につけていきます。

さらに本書を学び終えたら、次は長文問題集や志望校の過去問などにチャレンジしてください。そうすれば、本書で培った〈トピック力〉が役立つことを実感できるでしょう。単語の丸暗記や機械的な文法トレーニングとは大きな差がつく勉強法で、大学入試だけでなく社会に出てからも強力な武器になる本当の英語力・思考力の基礎を、みなさんが身につけてくださることを心から願っています。

編著者一同

本書では、「標準編」のレベルに配慮しつつ、昔も今も変わらない王道のテーマから最新の話まで、基本的な30のトピックを、3つのパート／10のジャンルに分けてバランスよく取り上げました。

3つのパートは「人間」「社会」「自然」です。これらが分かちがたく相互に影響し合い

はじめに … 2      本書の使い方 … 6

### Part 1 人間を深く知る …………… 8

#### 教育・心理

01 子どもと好奇心 …………… 10

02 新しい学びの形 …………… 14

03 読書と学力 …………… 18

[PICK UP] …………… 22

#### 健康・医学

04 睡眠の重要性 …………… 24

05 ペットセラピー …………… 28

06 アレルギーの原因 …………… 32

[PICK UP] …………… 36

#### 思想・人生

07 人生における成功 …………… 38

08 「事実」と「知識」 …………… 42

09 問題解決の方法 …………… 46

[PICK UP] …………… 50

#### 言語・コミュニケーション

10 スピーチのコツ …………… 52

11 沈黙の意味 …………… 56

12 言語学習の時期 …………… 60

[PICK UP] …………… 64

### Part 2 現代社会に生きる …………… 66

#### IT・テクノロジー

13 ロボットと労働 …………… 68

14 SNSのリスク …………… 72

15 視覚機器の発達 …………… 76

[PICK UP] …………… 80

#### 社会・経済

16 流行をつくるのは誰か? 82

17 食品ロス …………… 86

18 高齢化と労働人口 …………… 90

[PICK UP] …………… 94

#### 文化・歴史

19 コーヒーと文化 …………… 96

20 アメリカンドリーム … 100

21 「道」の歴史 …………… 104

[PICK UP] …………… 108

#### 国際・グローバル化

22 グローバル英語 …………… 110

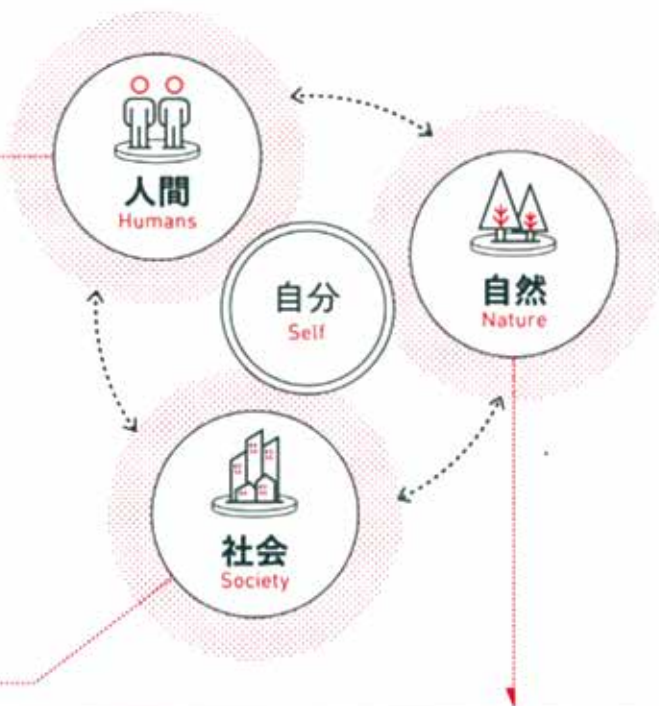
23 グローバル化と観光 … 114

24 カルチャーショック … 118

[PICK UP] …………… 122

ながら成り立っているのがこの世界。そのただ中で生きている「自分」の立ち位置を常に頭の片隅で意識しつつ、本書の学習を進めてください。

本書の構成は、受験勉強にとどまらず、あなたがこれから長い人生を生きていく際の「思考の枠組み」としても役立つはずです。



## Part 3 自然と向き合う ..... 124

### 環境・エネルギー

- |                       |                      |
|-----------------------|----------------------|
| 25 プラスチック汚染 ..... 126 | 27 太陽光発電とコスト ... 134 |
| 26 温室効果 ..... 130     | [PICK UP] ..... 138  |

### 生命・科学

- |                      |                     |
|----------------------|---------------------|
| 28 都会の鳥と田舎の鳥 ... 140 | 30 火星への移住 ..... 148 |
| 29 薬と毒を分けるもの ... 144 | [PICK UP] ..... 152 |

キーワードレビュー ... 154



教育・心理①

## TOPIC 01

# 子どもと好奇心

小さな子どもは「何?」「どうして?」と1日に何十回も質問をする。そうすることで自分なりの「世界観」を構築しているのだ。自分が小さかった頃のことも振り返りながら、人間の成長における好奇心や探求心の役割を再認識してみよう。

### Warm-up | キーワードを知ろう

🔊 S 01-1

★ダウンロード方法は  
→7ページ

④ 次の [ ] から適語を選んで、日本語に合う英文を完成させよう。

[ encourage / curious / development / nervous / handle ]

1. 私はその問題にうまく対応することができなかった。  
I couldn't (                    ) the problem.
2. 遊ぶことは子どもの発達にとって重要である。  
Playing is important for a child's (                    ).
3. どうしたら子どもが本を読むよう促すことができるだろうか。  
How can I (                    ) children to read books?
4. 子どもはあらゆることに好奇心がある。  
Children are (                    ) about everything.
5. 彼は新しい学校へ行くことを不安に感じている。  
He feels (                    ) about going to a new school.

【答え】 1. handle 2. development 3. encourage 4. curious 5. nervous

④ 答えを確認したら音声<sup>🔊</sup>を3回聞き、3回音読しよう。

- ① まずは最後まで読んでみよう。大体の意味が分かったら、Qの答えを考えよう。

① Children between the ages of three and five begin to ask many questions. ② The way parents handle their children's questions is important. ③ Some parents may be proud of their children's development and happily answer all their questions. ④ This encourages children to use their imagination and become more creative. ⑤ On the other hand, if parents are not patient enough to answer questions, children might feel that they shouldn't be curious about things. ⑥ As a result, they may begin to feel nervous about trying new activities.

Q: 1行目 begin, 4行目 answerの主語を、それぞれ1語で抜き出そう。

### ポイント

- ℓ.1 Children between the ages of ~ 「～歳の間の子ども」 ▶ between 以下が Children を後ろから修飾している。
- ℓ.2 The way S V 「SがVするやり方」
- ℓ.3 Some parents ~ 「～する親もいる」 ▶ ℓ.5 On the other hand と対応。  
development 「発達；成長；発育」 < develop 「発達 [成長] する」
- ℓ.4 encourage O to do 「Oが～するよう促す」
- ℓ.5 On the other hand 「その一方で；それに対して」
- ℓ.6 ... enough to do 「～するのに十分なほど…」
- ℓ.8 feel nervous about doing 「～するのを不安に感じる」

**【Qの答え】** 1行目 begin の主語 = Children  
4行目 answer の主語 = parents

- ② 答えを確認したら音声 を 3 回聞き、3 回音読しよう。



㊦ 以下は前のページで見た文章である。音声聞きながら空所を埋めよう。

- \_\_\_\_\_ more important in class.
- Many students say that they \_\_\_\_\_.
- Children learn \_\_\_\_\_.
- This game is \_\_\_\_\_ enjoyable.
- Students are \_\_\_\_\_.

\* \* \*

① Students in Japan are now engaging \_\_\_\_\_ and \_\_\_\_\_ in class. ② Students are learning \_\_\_\_\_ . ③ They build electric motors using everyday goods, such as wire, magnets, and paper clips. ④ They make ice cream by hand with salt and ice. ⑤ Students say that they like the new studying style because it is practical \_\_\_\_\_. ⑥ It is hoped that this new method will encourage students \_\_\_\_\_ .

**【日本語訳】** ①日本の生徒たちは今、授業で実践的な活動を行うことが多くなり、事実の暗記を行うことは減っている。②生徒たちは実際の経験を通じて科学の原理を学んでいる。③彼らは、針金・磁石・紙クリップなどの日常的な品物を使って電気モーターを組み立てる。④彼らは塩と氷を使って手作りでアイスクリームを作る。⑤生徒たちは新しい学習スタイルが好きだと言う。なぜなら、楽しく教育的なだけでなく、実践的でもあるからだ。⑥この新しい方法で生徒たちが科学 [理科]にもっと興味を持つようになる [「この方法が～ように促す」] ことが期待される。

## Output 1 | 英語で表現しよう [単文]

③ 前で見たと表現を使って日本語に合う英文を完成し、声に出して言ってみよう。

1. 私は、授業において**実践的な活動**がとても重要だと思う。

I think \_\_\_\_\_ in class.

2. 事実の**暗記**が好きな生徒はほとんどいない。

Few \_\_\_\_\_.

3. 私は、**実際の経験**を通じてこれらのことを学んできた。

I have \_\_\_\_\_.

4. その新しい学習スタイルは、楽しめるだけでなく、**教育的**でもある。

The new \_\_\_\_\_ as enjoyable.

5. 生徒たちは、以前よりも**科学 [理科]**に関心を持つだろう。

Students will \_\_\_\_\_ before.

### 解答例

1. I think (that) practical activities are very important in class.
2. Few students like memorization of facts.
3. I have learned these things through actual experience.
4. The new studying style is educational as well as enjoyable.
5. Students will be[become] more interested in science than before.

## Output 2 | 英語で表現しよう [パッセージ]

③ 左ページの**日本語訳**を見ながら、元の英文を思い出してみよう。完璧でなくてもいいから、声に出しながらノートに書いてみて、最後に答え合わせをしよう。

**思考力チャレンジ** ③ 次の答えを日本語で言って/書いてみよう。英語で言って/書いてみよう。

- ・小学校から今まででいちばん面白かった授業は、いつのどんな授業だった？
- ・その授業が面白かったのはどうして？